

操縦・航法

職種 操縦（パイロット）・航法（ナビゲータ）

航空機に搭乗して防空、航空偵察、航空輸送及び航空救難などを行っています。



気象

職種 気象観測・気象器材整備

飛行の安全を確保するため、航空気象に関するデータの収集、予報などを行い、それらの情報を全国の部隊に提供しています。



航空管制

職種 飛行管理・航空管制・航空管制器材整備

飛行場において、離着陸する航空機を誘導する航空交通管制業務を行い、これらのシステム・器材の整備を実施します。



兵器管制

職種 兵器管制・警戒管制・機上警戒管制

365日、昼夜を問わず領空を監視し、接近又は侵入してくる航空機等を早期に発見、識別し、必要に応じて戦闘機などを誘導します。



通信

職種 通信・機上無線

有線、無線通信器材を使用した電報などの送受信業務及び航空通信に関する業務を行っています。



無線レーダー整備

職種 機上電子整備・警戒管制レーダー整備・地上無線整備・電算機整備

機上通信、機上航法器材、警戒管制レーダー機器、地上用無線通信機器の整備に関する業務を行っています。



高射

職種 高射運用・高射整備

ペトリオットミサイルシステムなどを運用し、航空機部隊や警戒管制部隊と協力して航空機や弾道ミサイルなどを迎撃することを任務としています。



航空機整備

職種 航空機整備・ヘリコプター整備・エンジン整備

航空機、航空機用エンジン等の整備、修理などに関する業務を行っています。



宇宙

職種 宇宙

宇宙領域専門部隊で、宇宙空間の安定利用のため、宇宙状況把握などを行います。



武装

職種 武器弾薬・火器管制

戦闘機に搭載する武器弾薬、レーダーなどの整備を行っています。



車両整備

職種 車両整備・動力器材整備

車両の整備、動力器材及び無動力器材の整備に関する業務を行っています。



施設

職種 土木建築・電気・設備機械・給気

基地などにおける滑走路や建物の維持補修、電気やボイラーなどの管理業務を行っています。



消防

職種 消防

航空救難、建物火災、基地等近傍火災などの消防活動を行うほか、消防設備の管理や、防火教育などを行っています。



輸送

職種 空中輸送（戦術輸送）（特別輸送）・輸送

航空機への貨物の搭載などの空港業務、国賓等の輸送に関する客室業務及び車両を操縦し、人や貨物の輸送を行います。



給養

職種 給養

隊員の食事を提供するため、調理、配食及び給食事務に関する業務を行っています。



補給

職種 補給・燃料

航空自衛隊で使用する物品の需給統制、在庫管理、取得、保管、配分、処分などを行います。



知れば知るほど
誇れる仕事!!

空自には約30の職種があります!



会計

職種 会計

航空自衛隊で使用するすべての物品を購入しています。また、隊員の給与、出張の旅費等の計算、出納に関する業務も行っています。



音楽

職種 音楽

音楽演奏を通じて隊員の士気の高揚を図っています。また、国家的行事などに参加し、自衛隊の広報活動も行っています。



警備

職種 警備・警務

来訪者の受付をはじめとして、基地を警備し、施設、物品の管理と隊員の安全を守っています。



衛生

職種 医官・歯科医官・薬剤・衛生・放射線・臨床検査・歯科

健康診断、身体検査など、隊員の健康管理を行うとともに、環境衛生、食品衛生検査を行っています。



救難

職種 救難

航空機に搭乗し、遭難者の捜索、救助を実施します。また、被救助者に対する救急処置を行います。



技術

職種 技術

装備品等の研究開発及び試験評価を行っています。



その他

職種 情報・電算機処理・工作・語学・調達・印刷製図・総務・人事・厚生・教育・法務 など

その他にも、上に掲げた職種のように専門職、事務職など多彩な職種があります。



航空自衛隊

JAPAN AIR SELF-DEFENSE FORCE



やりたい仕事がきっと見つかる。

航空自衛隊オンラインメディア

twitter



Instagram



facebook



YouTube



自衛官候補生（任期制自衛官）

2等空士任官後2年9ヵ月を1任期（2任期以降は各2年）として勤務する任期制の隊員です。正規の隊員として各部隊等で勤務します。



一般曹候補生

部隊の中核となる技能スペシャリスト「曹」を目指す制度です。高校・大学の新卒者から社会人経験者まで、さまざまな経歴の隊員が活躍しています。



※ 最短で昇任した場合の一例。月額の基本給であり、これに諸手当が加算されます。支給額は個人の年齢、経験等によって異なります。

幹部候補生

自衛隊組織のリーダーとなる幹部自衛官（パイロット要員含む）を養成する制度です。

幹部候補生学校で必要な知識と技能を習得し、卒業後は部隊を指揮する初級幹部として活躍します。



航空学生

パイロットを養成する制度です。

約2年間の基礎教育の後、約2年間の飛行教育を経て、パイロットの資格を取得します。資格取得後は、戦闘機・輸送機・救難機に分かれて教育を受け、部隊に配属されます。



元自衛官再任用

民間企業に就職…結婚や出産…介護…などにより、自衛官を途中で退職した方を再任用する制度です。

空自ホームページから「元自衛官再任用採用情報」をご覧ください。

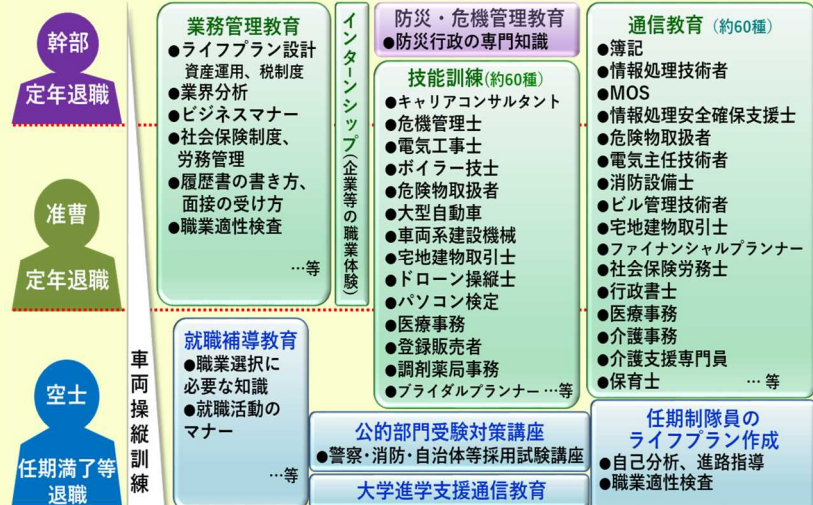
予備自衛官

退職後も、自衛官として培った能力を引き続き活かします。応募資格：1年以上勤務経験がある元自衛官

予備自衛官手当 月額 4,000 円
訓練に参加すると 日額 8,100 円

充実の再就職サポート

自衛官は任期制および若年定年制となっているため、希望者に対してさまざまな再就職支援が準備されています。



採用種目と受験資格

採用種目		受験資格	
		学歴等	年齢
幹部候補生	一般	大卒程度試験 (大学資格なし不可)	22歳以上26歳未満の者
	一般	大卒見込 修士課程修了者等(見込)	20歳以上22歳未満の者
	院卒者試験	修士課程修了者等(見込)	28歳未満の者
	院卒者試験	修士課程修了者等(見込)	20歳以上28歳未満の者
医科・歯科・薬剤科	歯科	専門の大卒(見込)	20歳以上30歳未満の者
	薬剤科	専門の大卒(見込)	20歳以上28歳未満の者
医科・歯科幹部		医師・歯科医師の免許取得者	
公募幹部		大卒以上の者	応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者
技術空曹		国家免許資格取得者等	20歳以上の者
航空学生		高卒者(見込)又は高専3年次修了者(見込)	18歳以上21歳未満の者
一般曹候補生			18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)
自衛官候補生			18歳以上21歳未満の者(中学校長推薦)
防衛大学校学生	推薦	高卒者(見込)又は高専3年次修了者(見込)	18歳以上21歳未満の者 (自衛官は23歳未満の者)
	総合選抜一般		
防衛医科大学校医学科学生		高卒者(見込)又は高専3年次修了者(見込)	18歳以上21歳未満の者
防衛医科大学校看護学科学生 (自衛官候補看護学生)			
貸費学生	技術	大学の理学部、工学部 ※3・4年次又は大学新修士課程(専門職大学院を除く)に在学し、既定の学科を専攻している者	正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満の者 (大学院修士課程在学者は28歳未満の者)

航空自衛隊をもっと知りたい!!

パンフレットは航空自衛隊ホームページから▼
<https://www.mod.go.jp/asdf/>



航空自衛隊
パンフレット



採用種目別
パンフレット



航空自衛隊HP 航空自衛隊採用HP
航空自衛隊採用HP

採用要項は自衛官募集ホームページから▼
<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu>

自衛官 採用

検索



自衛官募集HP